

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用 20118 千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
在日アフリカ人共生・協働事業	「アフリカンキッズクラブ」では、子どもや保護者が集い、ともに楽しみ、経験・悩みを共有する場を作った。「ユースと話すママ会」では、ユースの経験を聞く機会を設けた。またLINE グループなどで日常的な情報交換を行い、子育てや髪の手入れなどについてサポートし合った。	2022 年 4 月～ 2023 年 3 月	東京および全国各居住地	13	アフリカにルーツを持つ子ども・若者・保護者、在日アフリカ人、市民	400	444
	「アフリカンキッズクラブ関西」、「アフリカンキッズクラブ東海」では、地域でのつながりを広げながら、オンラインでは全国の人とつながり活動した。アフロダンスクラスは、ユースのアジマン樹里亜さんを講師にオンラインで 4 回、11/13 には大阪のスタジオに 50 人が集まり、対面とオンラインで実施した。	2022 年 4 月～ 2023 年 3 月	関西地区、東海地区および全国各居住地	15		300	
	「アフリカンユースミートアップ」では、交流会やイベントの実施、大学でのゲスト講義、情報発信、映像制作などを行い、経験や思い、差別・偏見の問題などを伝えた。世代を超えたブラックミックスの方たちとつながり、語り合う場を作った。	2022 年 4 月～ 2023 年 3 月	東京および全国各居住地	12		700	
	在日アフリカ人コミュニティと協力し、アフリカ理解の促進、交流を広げた。また、なんみんフォーラムや移住連などと連携を取り、生活に困難を抱える難民・移民への支援、人権擁護や政策提言、他団体へのアフリカに関する情報提供などを行った。	2022 年 4 月～ 2023 年 3 月	東京、関東地区および全国各居住地	10		450	
ネットワーク形成事業	国際保健のための市民社会ネットワーク GII/IDI 懇談会 NGO 連絡会や JANIC、SDGs 市民社会ネットワーク等に参加した。三大感染症終息に向けたネットワーク GFAN や G7 に向けた政策提言のネットワークに参加し、グローバルな市民社会と連携を強化した。TICAD に向けアフリカおよび日本の市民社会と連携し提言活動を行った。	GII/IDI 懇談会は隔月開催、意見交換会を月に 1 回、C7 国際保健 WG 会議を 6 回開催	東京、国内外の団体所在地	3	国際協力団体、国際協力に従事する個人、市民	700	889
	会員および会員以外のアフリカに関する情報交換や学びの機会をつくるための交流会を開催した。	12/18	東京各居住地	5	AJF の会員や紹介を受けた人	30	
アフリカ調査・研究事業	日本の保健 ODA へのアフリカ市民社会の参加に関する調査を行い、TICAD サイドイベントにて報告した。インターン 2 名、ボランティア 8 名とともにメールマガジン「グローバルエイズアップデートプラス」を毎月発行した。	2022 年 4 月～ 2023 年 3 月	東京各居住地	11	アフリカの保健課題に関心のある市民・団体	300	2948
	他 NGO や FAO 駐日連絡事務所、横浜市資源循環局と協力し「世界食料デー」月間の取り組みを行った。月に 1 回の FAO の資料を読む学習会をオンラインで開催し翻訳作業を進め、情報発信をウェブサイトで行った。	2022 年 4 月～ 2023 年 3 月 イベント：8/4, 9/1, 9/15, 10/	東京神奈川	3	アフリカ及び世界の食料農業に関心のある市民・団体	300	

	アフリカ熱帯林地域の野生生物に関する情報の整理、発信、チラシの更新、イベントブースでの発信を行った。	2022 年 4 月～ 2023 年 3 月	東京	3	環境課題 に関心のある市民・団体	800	
政 策 提 言 事業	TICAD に向けアフリカと日本の市民社会と共催者との対話を取りまとめたほか、西サハラ友の会と協力し、西サハラの TICAD 参加に関する提言、情報交換を行った。	2022 年 4 月～ 2023 年 3 月	東京	5	国際協力 団体、市民、関連 する国際 機関等	300	14760
	国内、海外のネットワークを通じパンデミックの備えと予防における公正な医療アクセスを求める活動、グローバルファンド（世界エイズ・結核・マラリア対策基金）への十分な資金拠出のための活動、G7保健分野に対する提言取りまとめを行った。	2022 年 4 月～ 2023 年 3 月	東京	5	保健課題 に関心のある市民 および市民 団体	1000	
	公正な医療アクセスを求める活動を後押しするための映像教材を他団体と協力して作成し、上映会を兼ねたセミナーを開催して啓発活動を行ったほか、WHO等他国機関交渉に対してネットワークとして提言を行った。	2022 年 4 月～ 2023 年 3 月	東京	5	保健課題 に関心のある市民 および市民 団体	100	
ア フ リ カ 理解促進	会報『アフリカ NOW』を 3 回、冊子とネットメディア（PDF ファイル）で発行した。ホームページで最新号とバックナンバーを紹介し、会員以外にも販売した。	2022 年 4 月～ 2023 年 3 月 発行：8, 11, 3 月	東京	8	市民、市民 団体、学生	400 /各号	537
	年間を通してウェブサイト、SNS 等で AJF の活動やアフリカ関連情報を提供した。「アフリカの日」に向け他団体と共同で声明をウェブで発表した。	2022 年 4 月～ 2023 年 3 月	東京	5	ウェブサ イト訪問 者	5000 /月	
	TICAD8 と、1 年間のアフリカのニュースについて、一般公開の交流会を各 1 回開催した。	10/26 12/18	東京	5	アフリカ に関心のある市民	30	
	アフリカの人々にも影響を与えるグローバルな保健課題や政府開発援助等について、ブログの執筆、メディアへの出演、執筆により啓発を行った。	2022 年 4 月～ 2023 年 3 月	東京	5	開発課題 に関心のある市民	不明	
	メールマガジン『AFRICA ON LINE』を毎週月曜日に発行（1148 号～1198 号）し、アフリカに関するイベント、文化情報などを提供した。	4 月 1 日～3 月 31 日の毎週月曜日	東京	4	アフリカ 関連イベ ント情報 に関心のある市民	2000	
	グローバルフェスタ JAPAN2022、都立動物園アフリカフェアにブース出展。	10/2-3 11/5-6	東京	10	イベント 参加者	25000	
	アフリカに関する主に日本語のメディア記事を収集・アーカイブ化し、重要なトピックについての紹介と分析結果を、メーリングリストやウェブサイトを通じて月 1 回のペースで発信した。	2022 年 4 月～ 2023 年 3 月	東京	8	市民、市民 団体、学生	400/月	
ア フ リ カ 支援事業	南アフリカから来日した研究者の講演会に協力し、記録を会報『アフリカ NOW』で公開した。南アフリカで土壌のコミュニティ調査に協力した。	10/31 2023 年 2 月～3 月	東京	5	市民、市民 団体	50	4

※共通事業費 536 千円

3 会の運営に関する事項

事務局家賃、事務局人件費、消耗品、通信費等として 2,947,200 円を支出（詳細別紙）。書き損じハガキ、切手などの寄付として 5202 円分があった。